

6/15
2017年第1269号
(毎月5、15、25日発行)

「健康長寿の鍵は『口』にあり」

11/3に日常診療経験交流会

会員・スタッフの演題を募集

協会は、第7回日常診療経験交流会を11月3日、保険医会館・保険医協同組合会館で開くことを決めた。実行委員長吉田裕志副理事長(写真)が演題発表と参加を呼びかけている。



第7回日常診療経験交流会

交流会は「健康長寿の鍵は『口』にあり」をテーマに開きます。午前には分科会、午後には記念講演会を予定しています。

交流会の大きな目的の一つは、日頃の経験・エビデンスに基づく日常診療に光をあて、参加者が日々の医療実践を共有し、自由な意見交換を行うことです。分科会では「4つのテーマ」を設けました。実りある交流会となるよう、多くの会員の演題応募をお待ちしています。

午後の記念講演では、「健康長寿の鍵は『口』にあり」というテーマで、

「口」にあり」をテーマに開きます。午前には分科会、午後には記念講演会を予定しています。

- ① 日常診療における工夫や悩み、トラブル
 - ② 明日からの診療に取り入れられるアイデアと経験交流
 - ③ 在宅医療
 - ④ 他職種連携など医療歯科連携の取り組み
- ※発表時間25分(質疑応答含む)、8月10日締め切り。詳細は事務局(Tel 06-6568-7467)まで

宇佐美宏保団連歯科代表に聞く

1990年代後半から現在に至るまでの歯科診療報酬の特徴は、90年代後半から厚労省は長期維持管理路線を一貫して進めている。その始まりは96年の補綴物維持管理料の導入だ。

補管では、①2年間の包括②保証書の義務付け

③非算定医療機関は70/100のペナルティーが設定された。算定した後に二次う蝕になったり、かぶせた歯が欠けたりした場合には、維持管理に失敗したということ

で補綴物の修理・新製が保険適用外になってしま

う。裏を返せば、補管の点数は成功報酬というこ

ハビリアプログラムを提供する現場の第一人者として活躍されています。

また、同病院歯科は全国でも珍しい高齢者歯科病院であり、健康長寿を支える病院として有名であることは先生方もご存知のことです。

歯科診療室からできる健康長寿のための口腔ケアなどについて、貴重なお話が伺えると思います。多くの会員・スタッフの参加をお待ちしています。

過去・現在・未来

成功報酬と施設基準で抑制

保険で良い歯科医療の実現を 大阪選出議員に請願署名託す

国会行動

協会は1日、全国保険医団体連合会が主催した中央要請行動に参加。戸井逸美副理事長、三井泰正副理事長ら、12人が大阪選出の国会議員に歯科医療の改善を訴えた。



13議員に署名が手渡された=1日、東京

状況の中で、歯科技工士が非常に厳しい状況に置かれている。歯科医療改善に向けて一緒にがんばりましょう」と話し、請願署名1000筆を受け取った。

また、辰口孝太郎参議院議員(共産)、宮本岳志衆議院議員(共産)も請願署名1000筆、800筆をそれぞれ受け取った。

当日は国会内で、「保険で良い歯科医療」署名提出集会が行われ、全国から230人が参加。連

帯のあいさつを寄せた国会議員13人に、全国から集まった「保険で良い歯科医療」請願署名3万筆を提出した。

請願署名にご協力を

いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名

協会では、「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名に取り組んでいる。患者に手渡しできるポケットティッシュ付署名のご要望は協会(06-6568-7731)まで。

技工問題で経産省に要請 独禁法適用質す

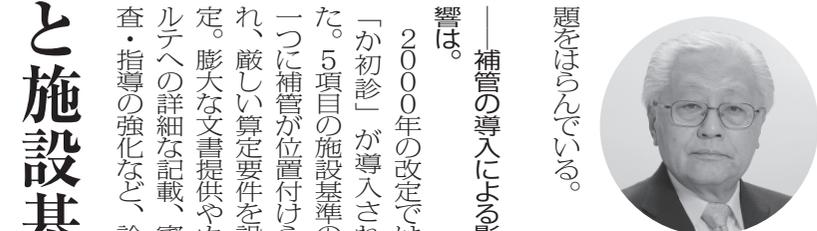
全国連絡会

「保険でよい歯科医療を」全国連絡会は1日、経済産業省から歯科技工に関する取引についてレクチャーを受けた。大阪

から戸井逸美副理事長と事務局が参加し、清水忠史衆議院議員(共産)が同席した。

連絡会は、厚労省大臣

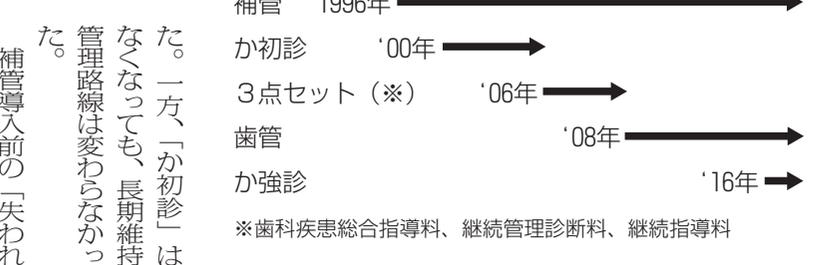
告示における歯科技工物の取引と独占禁止法との関係、歯科補綴物の外注の取引などについての見解を質問。雨松真希人会長は、技工士の劣悪な環境を改善するため、解決策を示してほしいと要請した。



宇佐美宏保団連歯科代表に聞く

療に大混乱を招いた。医療機関の差別化・選別化の狙いが鮮明になった。

保団連の反対運動などで06年に「か初診」は廃止になったが、日歯の汚職事件もあって06年改定は「報復改定」と呼ばれるほど厳しい内容となった。



「保険でよい歯科医療を」全国連絡会は1日、経済産業省から歯科技工に関する取引についてレクチャーを受けた。大阪から戸井逸美副理事長と事務局が参加し、清水忠史衆議院議員(共産)が同席した。連絡会は、厚労省大臣

た16年と、96年からの長期維持管理路線の歯科医療費を比べると、補管が入った96年を境に右肩上がりから横ばいに転じている。長期維持管理が診療報酬の抑制に利用されたことは明らかだ。

厚労省の表向きの理由は、疾病の重症予防や生涯管理、地域包括ケアシステムへの対応だが、▽か強診▽在宅専門診療所▽一般診療所——に区別を進めている。今後、か強診では疾病の重症化にペナルティーが持ち込まれたり、普及度が高まれば加算点数が改廃される可能性もある。一般診療所は選別化・差別化のなかで淘汰されるのではないかと危惧する。患者が望む「いつでも、どこでも、誰もが」受けられる保険で良い歯科医療とはほど遠い方向と言わざるを得ない。(つじく)

今日の数字

51.2%

「8020」達成者の割合。2日発表の2016年歯科疾患実態調査結果から。過去最高を記録。

歯界

認知症の多くは慢性的に起る。だから、問題行動の前から本人が自覚していたり、家族が気づいたりする。「この頃、物忘れが酷くて」という人の多くは固有な名詞の物忘れが前駆症状らしい。私は小まめにメモを取る。言辭記憶が怪しくなるとすぐに辞書を調べる。が、何語の辞書の記載だったかを忘れて、容易に解決しない。鞆を忘れて終着駅の西明石まで取りに行ったことは過去2度ほどある。あれは飲み過ぎのせいだ、今はそれほど飲めないから安全である。家族旅行で私は一行にはぐれてしまったことがある。当時6歳の孫が一命、意味も目的もなく歩き回るのは徘徊च्छゅうんやで」と、その口達者が印象的だったので家族だれもが覚えている。最近の私は仕事以外の時は、ほぼ寝たきりである。「徘徊と寝たきりと両方同時はなからう。毒舌癖は、権力者には向かうが家族にはなさそうや」と少し安心されている。